

申請書類一覧

申請者区分	助教諭 又は 講師	教頭 又は 教諭	助教諭 又は 講師	教頭 又は 教諭	【注 意 事 項】 ※①～⑩は表の番号
申請区分	新規申請		継続申請		
申請1件あたりの手数料 (宮崎県収入証紙)	3,400 円				
① 教育職員検定願 (様式第2号の2)	○	○	○	○	<p>③ 市町村立学校の申請については、証明責任者欄に市町村教育委員会の証明が必要。 私立学校・幼稚園等の申請については、証明責任者欄に理事長の証明が必要。</p> <p>④ 身体に関する証明は、定期健康診断の写し(概ね1年以内に受診したものに限り。)で替えることができる。</p> <p>⑤ 市町村立学校の申請については、実務証明責任者欄に市町村教育委員会の証明が必要。 私立学校・幼稚園等の申請については、実務証明責任者欄に理事長の証明が必要。</p> <p>⑥ 卒業証明書等及び⑦成績証明書について、証明書発行機関の規則により証明書の発行が困難な場合、「発行できない旨の証明書」を提出すること。 その際、⑩申請教科に関する資格の証明書や資料等を添付すること。</p> <p>⑩ 申請書類中に姓名や本籍地が異なる場合、<u>戸籍の証明書(抄本等)</u>が必要。</p>
② 臨時免許状授与内申書(様式第6号)	○	○	○	○	
③ 人物に関する証明書(様式第3号)	○		○		
④ 身体に関する証明書(様式第4号)	○		○		
⑤ 教科教育成績証明書(様式第5号)		○		○	
⑥ 卒業証明書(原本) 又は卒業証書の写し (原本証明付き)	○				
⑦ 成績証明書(原本)	○				
⑧ 所有する免許状両面の写し(原本証明付き)	○	○	○	○	
⑨ 臨時免許状原本(継続の場合)			○	○	
⑩ 申請教科に関する資格証の写し等	△	△	△	△	
⑪ 戸籍抄本	△	△	△	△	
⑫ 返信用封筒	△	△	△	△	

※ ○は必ず提出、△は必要に応じて提出すること。

※ 上記以外にも必要と認める書類を提出させる場合がある。

※ 「申請者区分」において、普通免許状を有し、正採用された者で「免許外教科教授担任許可制度」に該当しない主幹教諭、指導教諭若しくは教諭又は教頭以外の者は、助教諭又は講師となる。

※ 上記の書類について、写しを提出する場合は、所属長の原本証明を付すこと。

教育職員検定願				
申請 免許状	教諭（専修・1種・2種・臨時・特別）免許状			教科・ 領域
ふりがな	電話 番号	本人・日中連絡先		
氏名		所属（ ）		
現住所				
生年月日	（和暦）	年	月	日
		本籍地	（都道府県）	
<p>私は、関係書類を添付のうえ、上記免許状の教育職員検定による授与を申請します。なお、教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までの規定に該当しないこと及びこの出願について虚偽のないことを誓います。</p> <p>（教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までの規定）</p> <p>3号 禁錮以上の刑に処せられた者</p> <p>4号 第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者</p> <p>5号 第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者</p> <p>6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者</p> <p style="text-align: right;">年 月 日 氏名 (自署)</p> <p>宮崎県教育委員会 殿</p>				

県収入証紙貼付欄
（普通免許状又は特別免許状の場合 5,000 円） （臨時免許状の場合 3,400 円）

受付日付

※以下、宮崎県教育委員会記入欄

根拠規定		免許法第（ ）条第（ ）項別表第（ ）		審査	
普通 免許	添付 書類	学力に関する証明書		戸籍抄本	
		実務成績証明書		基礎資格	
		人物に関する証明書		修得単位	教科・養護・栄養及び教職
		身体に関する証明書			特支
		教員免許状の写し		所要資格取得年度	年度
臨時 免許	添付 書類	臨時免許状授与内申書		講師	卒業、修了又は資格に関する証明書
		人物に関する証明書			成績証明書
		身体に関する証明書		更新する臨免原本	
		教員免許状の写し等		戸籍抄本	
		教諭	教科教育成績証明書		
特別 免許	添付 書類	人物に関する証明書		推薦書	
		身体に関する証明書		卒業、修了又は資格に関する証明書	
		実地に関する経験又は技術の証明書		戸籍抄本	

臨時免許状授与内申書			
年 月 日			
宮崎県教育委員会 殿			
学校長 職氏名 印			
下記の者に臨時免許状を授与していただきたいので内申いたします。			
記			
氏名		職名・任用形態	
申請免許状		教科・領域	
任用予定日		授業開始日	
所有免許状			
(1) 臨時免許状を願う理由			
(2) 当該教員が申請免許の指導が可能と判断する理由			

(備考) 臨時免許状が授与されるべき具体的な根拠を(2)に明示すること（例：他の教員免許状、資格又は実務経験（年数を記載）等）。過去に授与された臨時免許状自体は新たに臨時免許状を授与する根拠とはならない。

人物に関する証明書							
氏名				職名		生年月日	年 月 日
観察事項（以下の該当欄に○印を付すこと。）							
1	責任感	ややもすれば責任を回避しがちである	責任は果たすが不十分である	責任を果たす	責任を十分に果たす	責任を積極的にしかも完全に果たす	
2	協調性	協力して仕事をするのが少ない	協力して仕事をするが範囲が狭い	協力して仕事をする	多くの人と協力して仕事をする	全ての人と積極的に協力して仕事をする	
3	計画性	計画性が少なく着眼性もあまり良くない	着眼点は良いが計画性がやや少ない	計画性がある	計画性があり着眼も良好である	優れた計画性があり着眼も良く計画は周到である	
4	信頼度	誠実さに欠けるところがあり信頼が薄い	一応信頼されるがいくらか誠実さに欠けるところがある	誠実で信頼される	誠実で人々からの信頼が厚い	誠実で多くの人々から全面的に信頼される	
5	判断力	ややもすれば判断に的確を欠くことがある	おおむね中正面な判断をするが適当とは言えない	中正面な判断をする	中正面で的確な判断をする	あらゆる場合に中正面で的確な判断をする	
6	言動	言動に慎重を欠きがちである	言動に慎重であるがやや明快さや節度に欠けるところがある	言動と動作とも普通である	言動は明快で動作に節度がある	言動は非常に明快で動作に節度があり品位も失わない	
有 ・ 無 教員としての 適格性		※どちらかに○をつけ、その理由を記入すること					
上記のとおり副申する。 年 月 日 所属長職氏名 印							
上記のとおり証明する。 年 月 日 証明責任者 印							

- (備考) 1 所属長の証明は、現職でない者は出身学校の責任者又は県教育委員会が適当と認める者によるものとする。
- 2 証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については当該学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

身体に関する証明書	
氏名	
生年月日	年 月 日生
視力	右 (矯正) 右 左 左
聴力	右 左
疾病異常等の所見	
上記のとおり診断する。 年 月 日 医療機関 所在地 名称 医師氏名	

㊞

教科教育成績証明書				
氏名		現勤務校		
申請免許状				
所有免許状				
勤務期間	自 年 月 日 至 年 月 日			
	計 年 月 日	計 年 月 日	計 年 月 日	計 年 月 日
勤務校				
職名				
担当学年教科				
毎週担任時数	時間	時間	時間	時間
出願教科の担任が可能かどうかの判断の理由				
学校長の意見				
<p>上記のとおり副申する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">学校長職氏名 印</p>				
<p>上記のとおり証明する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">実務証明責任者 印</p>				

（備考） 実務証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については当該学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

教育職員免許状検定願			
申請 免許状	中学校 教諭 (専修・1種・2種 臨時 特別) 免許状		教科・ 領域
技術			
ふりがな	みやざき たろう	電話 番号	本人・日中連絡先
氏名	宮崎 太郎	所属 (〇〇中)	000-0000-0000 0000-00-0000
現住所	宮崎市橘通東1丁目9番10号		臨免を使用する学校 について記入
生年月日	(和暦) 〇〇年 〇月 〇日	本籍地	宮崎 (都道府県)
<p>私は、教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までの規定に該当しないこと及びこの出願について虚偽のないことを宣誓します。関係書類を添付の上、上記免許状の授与をお願いいたします。</p> <p>3号 禁錮以上の刑に処せられた者</p> <p>4号 第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者</p> <p>5号 第11条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該処分の日から3年を経過しない者</p> <p>6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他団体を結成し、又はこれに加入した者</p> <p>〇〇年 〇月 〇日</p> <p>Wordでの入力是不可</p> <p>氏名 宮崎 太郎 (自署)</p> <p>講師の場合、任用日以前の日付 教諭の場合、授業開始日以前の日付 継続申請の場合、有効期限日以前の日付</p>			

県収入証紙貼付欄
宮崎県収入証紙を3400円分貼付ける
(臨時免許状の場合 3,400円)

受付日付

※以下、宮崎県教育委員会記入欄

根拠規定		免許法第 () 条第 () 項別表第 ()	
普通免許	添付書類	学力に関する証明書	基礎資格
		実務成績証明書	修得単位
		人物に関する証明書	教科・養護・栄養及び教職 特支
		身体に関する証明書	所要資格取得年度
		教員免許状の写し (戸籍抄本)	年度 審査
臨時免許	添付書類	臨時免許状授与内申書	教諭 教科教育成績証明書
		人物に関する証明書	講師 卒業、修了又は資格に関する証明書
		身体に関する証明書	成績証明書
		教員免許状の写し等	(更新する臨免原本) (戸籍抄本)
特別免許	添付書類	人物に関する証明書	推薦書
		身体に関する証明書	卒業、修了又は資格に関する証明書
		実地に関する経験又は技術の証明書	(戸籍抄本)

点線内は記入不要

臨時免許状授与内申書

検定願の日付と合わせる ○○年 ○月 ○日

宮崎県教育委員会 殿

学校長 ○○市立○○中学校
職氏名 校長 日向 次郎 印

下記の者に臨時免許状を授与していただきたいので内申いたします。

記

氏名	宮崎 太郎	現職名・任用形態	臨時的任用講師
申請免許状	中学校臨時免許状	教科・領域	技術
任用予定日	○○年 ○月 ○日	授業開始日	○○年 ○月 ○日
所有免許状	中Ⅰ種(美術)、高Ⅰ種(美術)		

(1) 臨時免許状を願う理由

普通免許状を所有する者を探したが見つけられずやむを得ず臨時免許状の申請に至った。

教員や塾講師等での勤務経験がある場合は、年数や担当教科など詳しく記入すること

(2) 当該教員が申請免許の指導が可能と判断する理由

- ・ 過去に○○年間にわたり臨免で申請教科の指導を行ったことがある。
- ・ 過去に○学校で○年間にわたり講師として勤務し、○の教科を担当していた。
- ・ 大学在学中に、○○について学んでいる。
- ・ ○○の研修を受けた経験がある。
- ・ ○○の資格を所有している。など

(備考) 臨時免許状が授与されるべき具体的な状況(例)を明示すること(例:他の教員免許状、資格又は実務経験(年数を記載)等)。過去に

これまでに申請教科での指導経験が無い場合は、学校内でのサポート体制等について必ず記入すること
例)・初めはTTで授業を行い、他の教員に指導を受ける
・校内で研修を行い、他の教員に指導・助言を受けながら授業を担当する など

人物に関する証明書						
氏名	宮崎 太郎		職名	臨時的任用講師	生年月日	〇〇年 〇月 〇日
観察事項（以下の該当欄に〇印を付すこと。）						
1	責任感	ややもすれば責任を回避しがちである	責任は果たすが不十分である	責任を果たす	責任を十分に果たす	〇 責任を積極的にしかも完全に果たす
2	協調性	協力して仕事することが少ない	協力して仕事をするが範囲が狭い	協力して仕事をする	多くの人と協力して仕事をする	全ての人と積極的に協力して仕事をする 〇
3	計画性	計画性が少なく着眼性もあまり良くない	着眼点は良いが計画性がやや少ない	計画性がある	計画性があり着眼も良好である	優れた計画性があり着眼も良く計画は周到である 〇
4	信頼度	誠実さに欠けるところがあり信頼が薄い	一応信頼されるがいくらか誠実さに欠けるところがある	誠実で信頼される	誠実で人々からの信頼が厚い	〇 誠実で多くの人々から全面的に信頼される
5	判断力	ややもすれば判断的的確を欠くことがある	おおむね中立的な判断をするが適当とは言えない	中立的な判断をする	中正で的確な判断をする	あらゆる場合に中正で的確な判断をする 〇
6	言動	言動に慎重を欠きがちである	言動に慎重であるがやや明快さや節度に欠けるところがある	言動と動作とも普通である	言動が明快で動作に節度がある	言動は非常に明快で動作に節度があり品位も失わない 〇
教員としての適格性		有・無 ※どちらかに〇をつけ、その理由を記入すること 〇〇〇であり、教育職員として適格である。				
上記のとおり副申する。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> 〇〇年 〇月 〇日 検定願の日付と合わせる </div> <div style="text-align: center;"> 〇〇市立〇〇中学校 所属長職氏名 校長 日向 次郎 </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> 印 </div> </div>						
上記のとおり証明する。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> 〇〇年 〇月 〇日 検定願の日付と合わせる </div> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> ↓県立学校の場合、この欄は空欄のまま提出 </div> <div style="text-align: center;"> 〇〇市教育委員会 実務証明責任者 </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> 印 </div> </div>						

(備考) 1 所属長の証明は、現職でない者は出身学校の責任者又は県教育委員会が適当と認める者によるものとする。
 2 証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については当該学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

身体に関する証明書	
氏名	医療機関で記入
生年月日	年 月 日生
視力	右 (矯正) 右 左 左
聴力	右 左
疾病異常等の所見	
上記のとおり診断する。 年 月 日 医療機関 所在地 名 称 医師氏名 ㊦	

この証明書に代えて、概ね1年以内の定期健康診断書の写し（所属長の原本証明付き）の提出も認める。

【原本証明の記載例】

この写しは原本と相違ないことを証明します。

○年○月○日 △△校長 日向 次郎 印

教科教育成績証明書				
氏名	宮崎 太郎		現勤務校	△△市立〇〇中学校
申請免許状	中学校臨時免許状(技術)			
所有する免許状	中一種(社会)、高一種(地歴)			
勤務期間	自〇〇年〇月〇日 至〇〇年〇月〇日	自〇〇年〇月〇日 至〇〇年〇月〇日	自〇〇年〇月〇日 至〇〇年〇月〇日	自〇〇年〇月〇日 至〇〇年〇月〇日
	計 〇年 月 日	計 〇年 月 日	計 〇年 月 日	計 〇年 月 日
勤務場所	〇〇中学校	〇〇中学校	〇〇中学校	〇〇中学校
職名	教諭	教諭	教諭	教頭
担当学年教科	1学年社会	2学年社会・技術	3学年社会	
毎週担任時数	△時間	△時間	△時間	時間
出願教科の担任が可能かどうかの判断の理由	過去に免外申請で出願教科の指導経験がある。 研修で〇〇について学んだ経験がある。 〇〇の資格をもっている。 大学時代に〇〇について学んだ経験がある。 など			
学校長の意見	温厚な人柄で勤務態度も真面目である。周囲からの信頼も厚い。使命感にあふれ、教材研究も熱心で指導力も申し分ない。			
上記のとおり副申する。				
〇〇年 〇月 〇日		〇〇市立〇〇中学校 校長 日向 次郎 		
検定願の日付と合わせる		所属長職氏名		
上記のとおり証明する。				
〇〇年 〇月 〇日		〇〇市教育委員会 		
検定願の日付と合わせる		実務証明責任者		

これ以前の勤務歴については記入不要

検定願の日付と合わせる

↓県立学校の場合、この欄は空欄のまま提出

検定願の日付と合わせる

(備考) 実務証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所管庁、私立学校の教員については当該学校を設置する学校法人の理事長をいう。